

〇〇年〇〇月〇〇日

試験・分析・調査報告書

株式会社ハウス食品分析テクノサービス

〒284-0033 千葉県四街道市鷹の台1丁目4番

電話 043-237-5676

ファックス 043-237-2912

ご依頼者 株式会社●●
品質管理課
試験品 お申し出品
ご依頼事項 食塩浸透程度測定による混入時期推定
試験品受領日 ●●年●月●日

総評	試験品(2箇所)には、ナトリウムと塩素が浸透していました。 再現試験を行った毛髪と比較した結果、試験品のナトリウムと塩素の浸透程度は「開封後に混入」と同程度で、「製造時に混入」より弱い状態でした。このことから、試験品が製造時に混入していた可能性は低いと考えられます。
----	--

<試験内容>

■食塩浸透程度測定による混入時期推定

情報

試験品の発見状況が記載されます

長さ (mm)

〇〇

太さ (μm)

〇〇~〇〇

再現試験

混入を想定したモデル系の条件が記載されます
例)【製品と未接触、開封後に混入、製造時に混入】

試験品の浸透

測定機器：波長分散型X線分析装置(WDX)

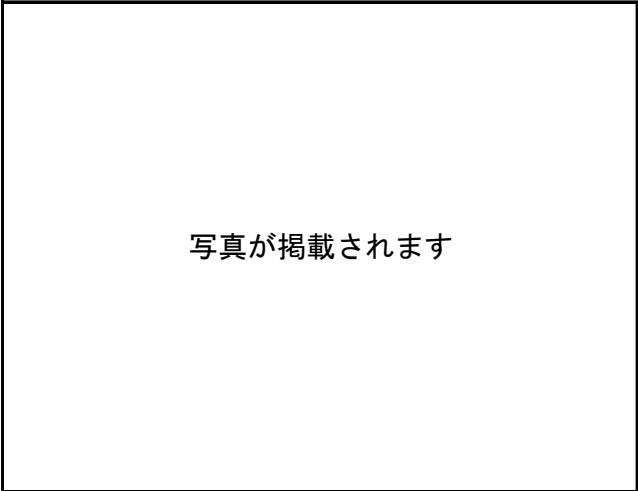
2箇所にはナトリウムと塩素が浸透している

浸透程度の比較	ナトリウム：製品と未接触 < 開封後に混入＝【試験品】 < 製造時に混入 塩素：製品と未接触 < 開封後に混入＝【試験品】 < 製造時に混入
推定	試験品が製造時に混入していた可能性は低い
推定理由	推定理由が掲載されます

＜参考情報＞

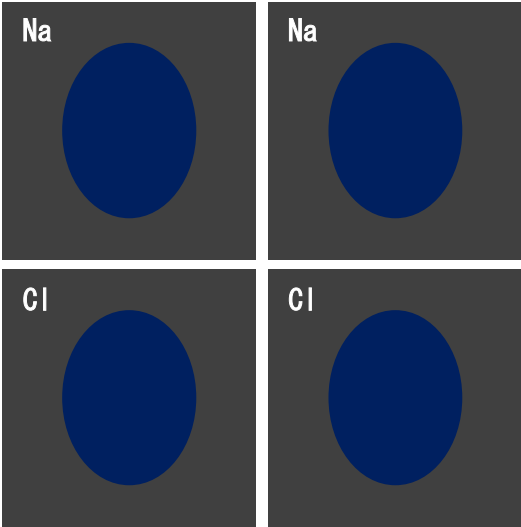
食塩浸透程度測定

原理が掲載されます

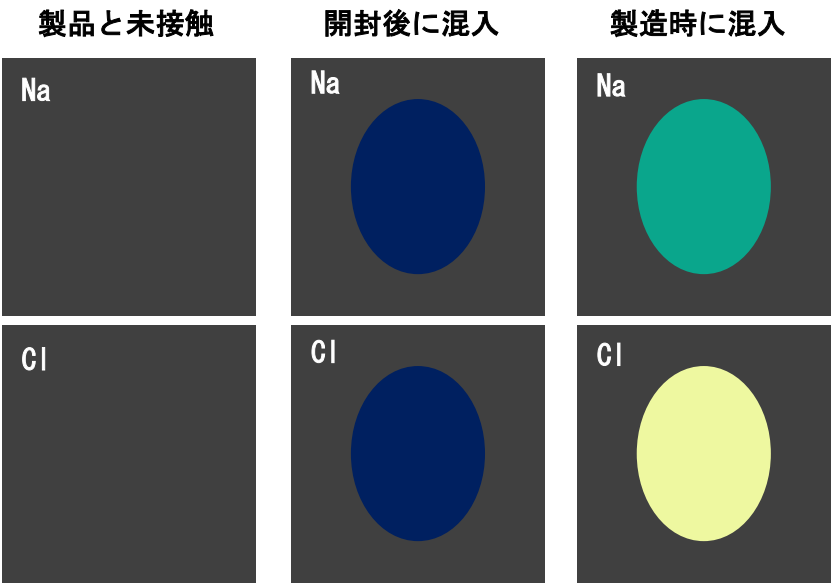


試験品

試験品



再現試験を行った毛髪



マッピング画像 (Na : ナトリウム、Cl : 塩素)

以上